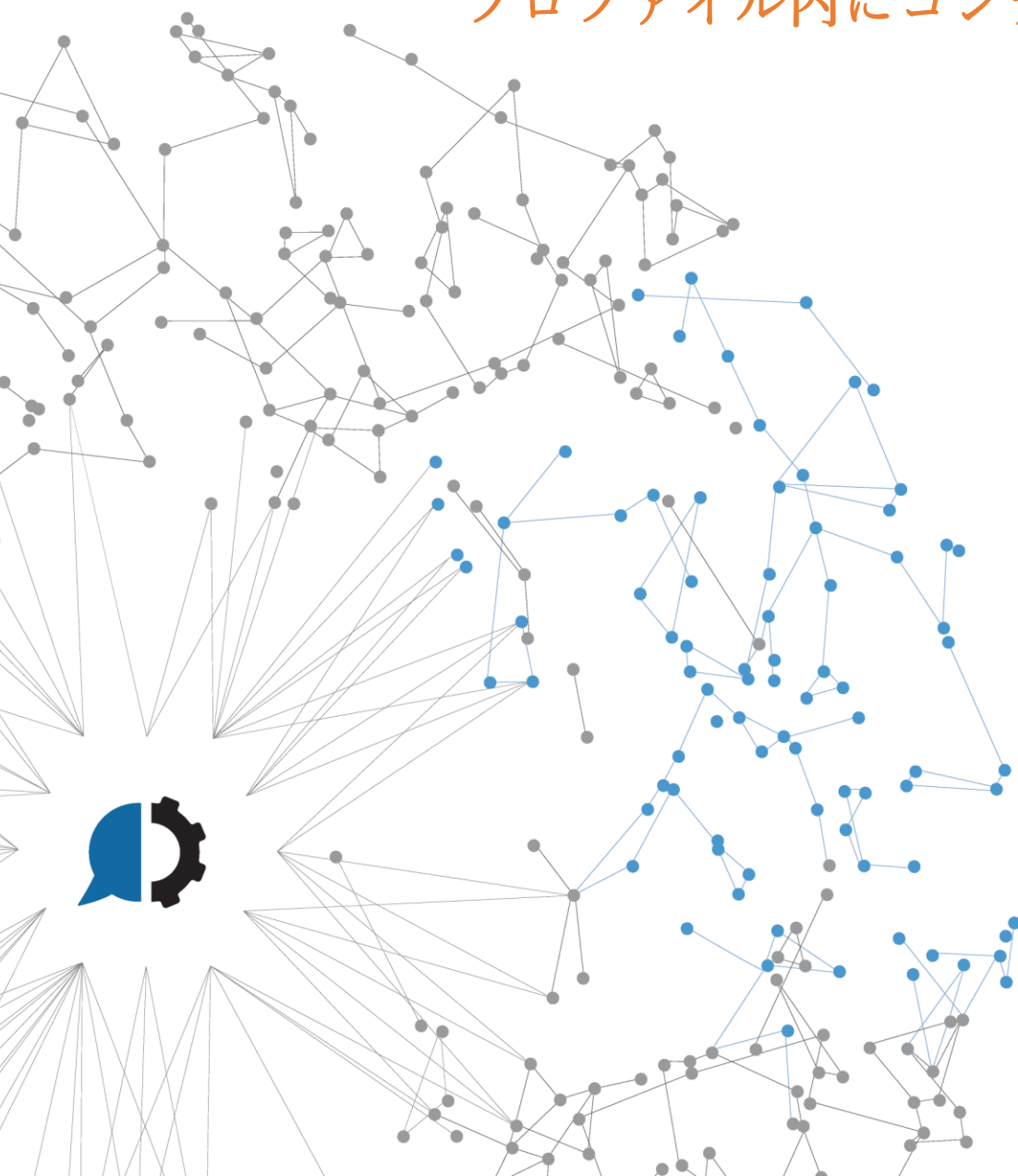




LINKEDIN BOT

プロフィール内にコンテンツを共有





目次

概要.....	3
必要要件.....	4
AUTOMATE タスクのインポート方法	7
入力ファイルの作成方法.....	8
「LINKEDIN - プロファイル内にコンテンツを共有」の実行方法	9
付録 A - LINKEDIN EXCEL の入力と結果の共有例.....	11



概要

この How to ガイドでは、「LinkedIn - トークンの生成」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

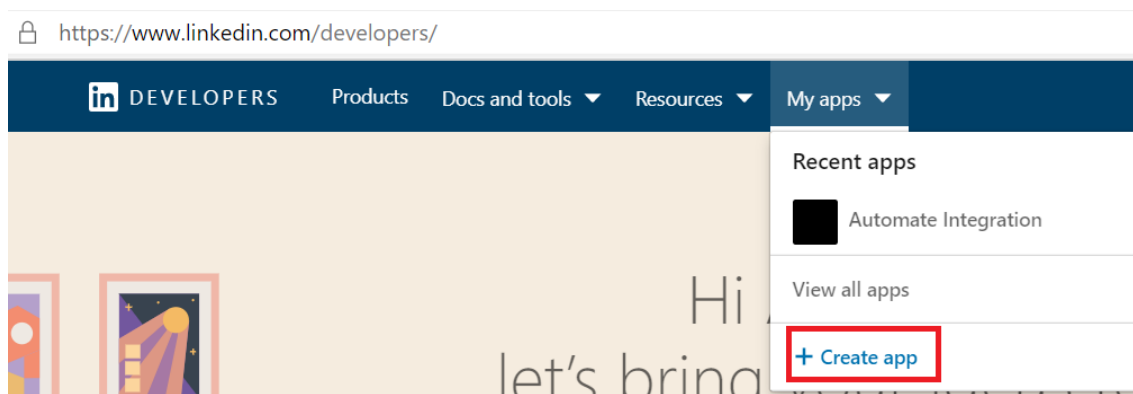
LinkedIn - プロファイル内にコンテンツを共有は、**LinkedIn Consumer Solutions Platform** の一部である「**Share on LinkedIn API**」に基づいています。User Generated Content (UGC) API にリクエストを投稿することで LinkedIn シェアを作成し、実行結果で Excel ファイルを更新します。具体的な HTTP メソッドは「**ugcPosts**」です。投稿されたシェアは、LinkedIn のプロフィールの「**投稿とアクティビティセクション**」に直接表示されます。詳細については、「**必要条件**」と「**入力ファイルの生成方法**」のセクションをよく確認してください。

また、「**LinkedIn - トークンの生成**」も用意されており、このボットを動作させるために必要なトークンを簡単に作成することができます。トークンはデフォルトで60日ごとに期限が切れることにご注意ください。



必要要件

- **AutoMate:** LinkedIn ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです:
 - **Automate Ultimate 11.2**
 - **Automate Plus 11.2**
 - **Automate Desktop 11.2**
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** LinkedIn ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **LinkedIn:** 最低限必要なものは
 - **LinkedIn でアプリケーションを作成:** 他の LinkedIn Bots の接続に使用されるトークンの適切なスコープとリクエストを設定できるようにするには、LinkedIn 開発者サイト内でアプリケーションを作成する必要があります。これを行うには、<https://www.linkedin.com/developers> で LinkedIn Account にログインする必要があります。ここで、新しい APP を作成するための「My apps」メニュー内のオプションを見つけることができます:



OAuth Authorization Code Workflow をサポートするようにアプリケーションを設定します。アプリケーションの設定画面で、「Auth」タブを開き、OAuth 2.0の設定を行います。Client ID と Client Secret が提供されます（安全に保存してください）。これらの値は、Bot

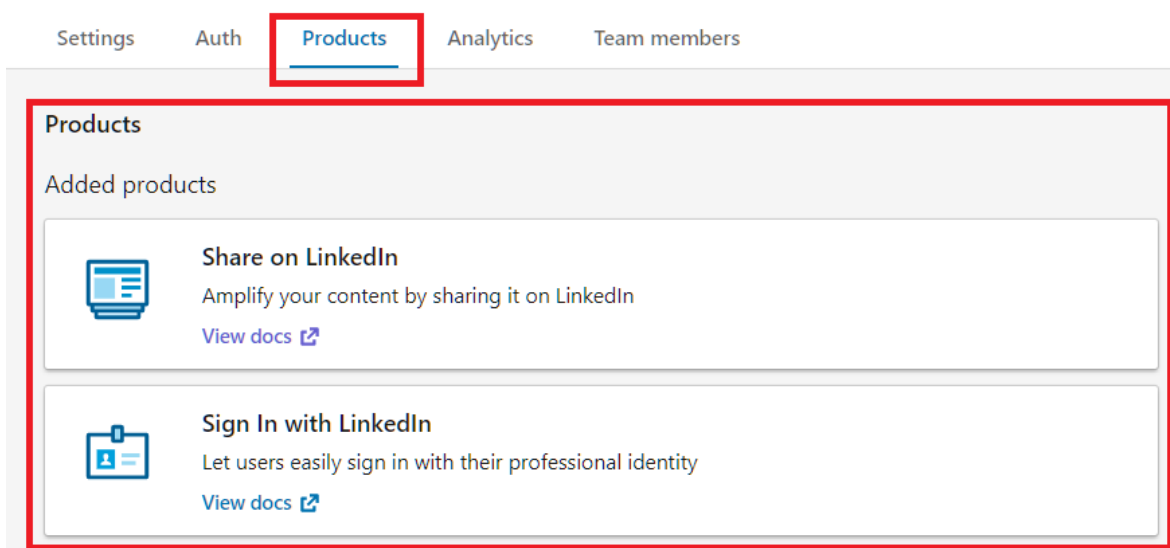


Configuration を設定する際に必要になります。認証コードの流れ（3本足 OAuth）については、[こちら](#)で詳しく解説しています。

- **LinkedIn User Generated Content (UGC) API と接続するためのトークンを取得。** : アプリの設定が完了したら、LinkedIn が提供する [リンク](#) 先の手順に従い、次の Scope を持つ Token を取得します:

- **w_member_social** : 認証されたメンバーの代わりに LinkedIn の投稿を作成するために必要です。
- **r_liteprofile** : これは Profile フィールドにアクセスするために必要で、特にこのボット内でこのスコープが必要なのは、共有が作成される LinkedIn Account の内部 ID を取得するためです。

スコープは、LinkedIn アプリケーション内で追加した製品に関連していることにご注意ください。次の画像の例では、「Share on LinkedIn」と「Sign in with LinkedIn」というプロダクトを追加しています。次の画像では、これらの製品が何に使用されるかを説明しています:



アプリ内で LinkedIn の「w_member_social」スコープにアクセスするためには、「Share on LinkedIn」プロダクトの前に追加する必要があります。LinkedIn の「r_liteprofile」スコ



ープにアクセスするためには、「Sign In with LinkedIn」プロダクトの前に追加する必要があります。

また、Oauth2.0認証コードワークフローに基づく「**LinkedIn - トークンの生成**」も [BotStore](#) で提供しています。このボットは、トークンを維持し、日常的にこのボットを実行することができる簡単な方法を提供します。

- [LinkedIn API バージョン](#): このボットは API v2 を使用して作成されています。

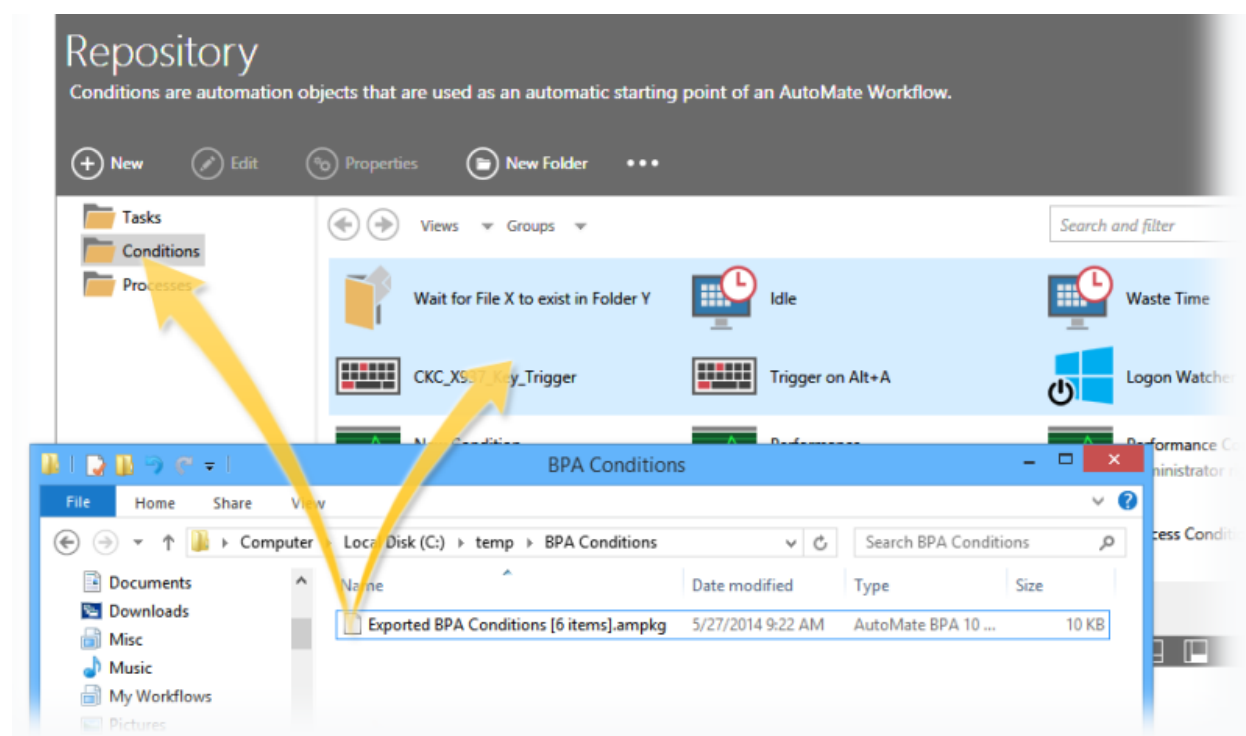


AUTOMATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





入力ファイルの作成方法

この LinkedIn Bot に同梱されている入力ファイル「**LinkedIn Shares INPUT.xlsx**」は、取引のすべてのフィールドを自動的に入力するためのガイドを提供します。

Excel ファイル

	A	B	C	D	E
1	LinkedIn Share/Post fields				
2	Share Text	Share Visibility PUBLIC or CONNECTIONS	URL Share (Optional)	Image Share FileName (Optional)	Images Foder Path (Optional)

F	G	H
Created?	Details	
Yes/No	Date	Share/Post ID or Result Message

注意:

- **赤色の項目**は必須項目です。
- 入力ファイルの F 列から H 列には、実行結果とオープンした Share/Post ID が記入されます。
実行結果の例については、[付録 A](#) を参照してください。

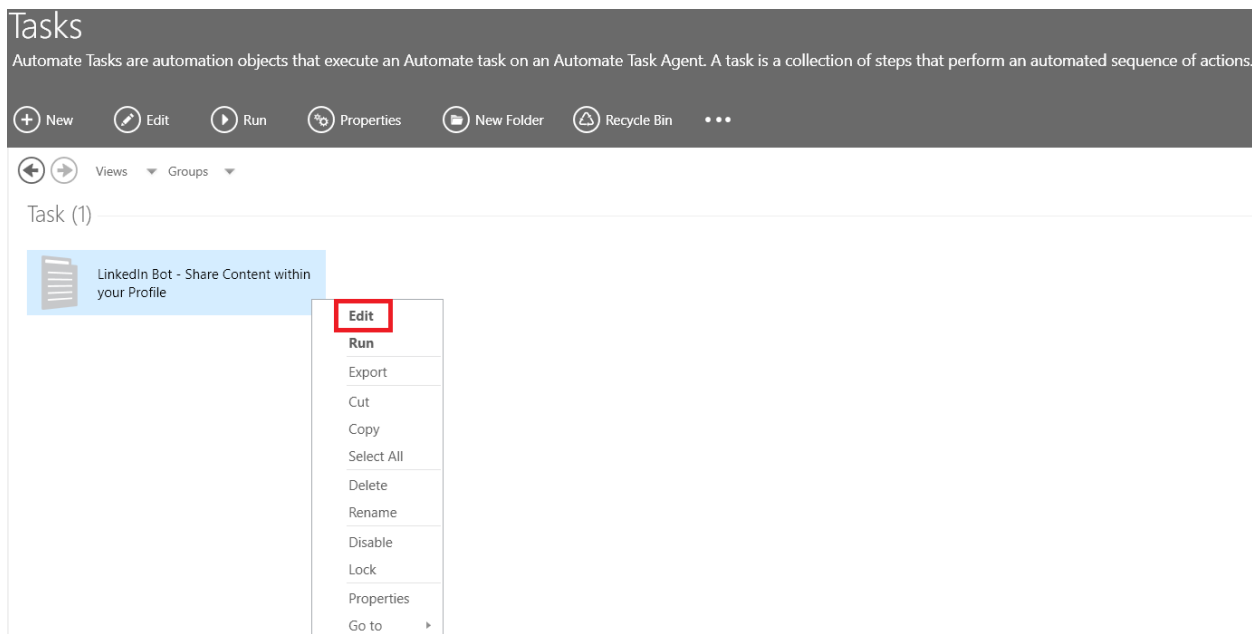


「LINKEDIN - プロファイル内にコンテンツを共有」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



ステップ4では、希望する出力に合わせて次の変数を編集してください:

- **var_ExcelInputFile:** 作成する LinkedIn Shares INPUT Excel ファイルのロケーションパスと名前を設定します。

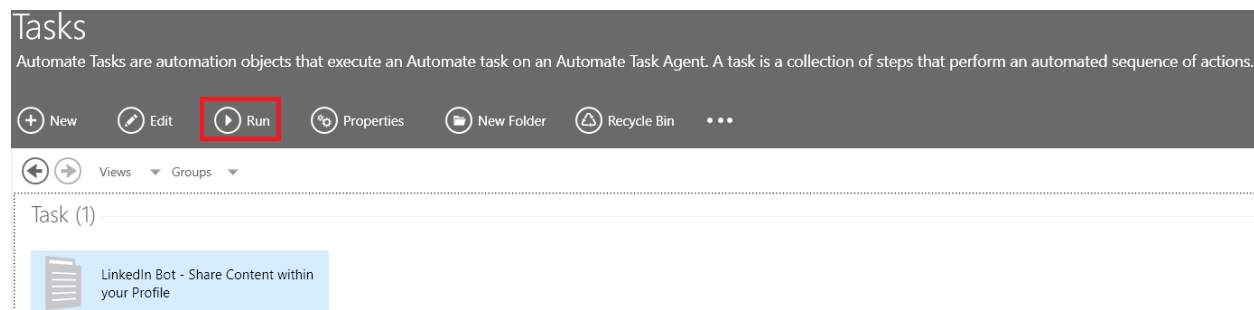
例: **"D:\Automate\LinkedIn\LinkedIn Shares INPUT.xlsx"**

- **var_LinkedInToken:** 接続用のトークン、またはトークン情報が記載されたファイルのパスを設定します。例 C:\AutomateToken.txt. トークンは、トークンが生成されたユーザーアカウントに関連付けられるにご注意ください。

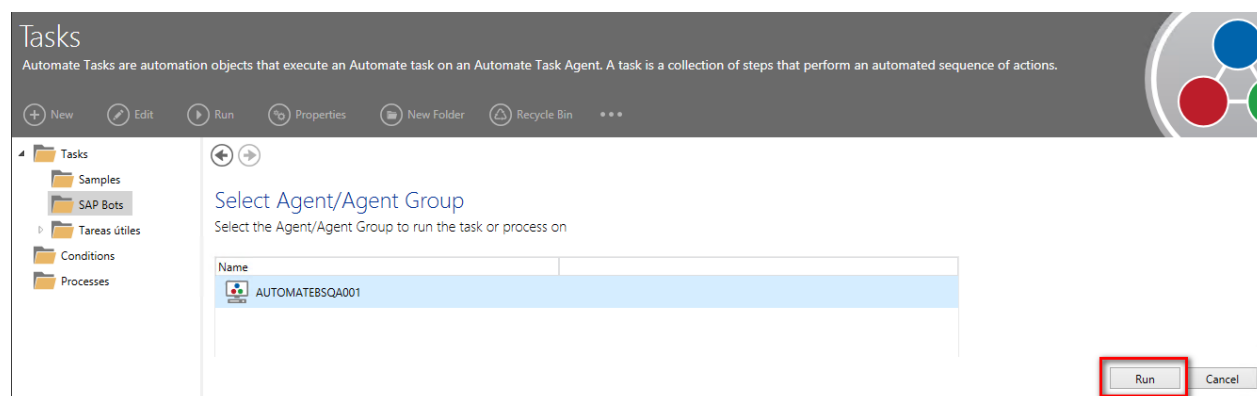
タスクを保存して閉じる



タスクを選択し、「実行」をクリック



エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A – LINKEDIN EXCEL の入力と結果の共有例

Excel の結果:

A	B	C	D	E
LinkedIn Share/Post fields				
Share Text	Share Visibility PUBLIC or CONNECTIONS	URL Share (Optional)	Image Share FileName (Optional)	Images Foder Path (Optional)
LinkedIn Post created by Automate	CONNECTIONS			
AUTOMATE PLUS: Enterprise automation working with processes involving multiple people, departments, and processes.	CONNECTIONS	https://www.helpsystems.com/product-lines/automate		
Automate Bot Store: Online marketplace of free, fully functional bots for users to download.	CONNECTIONS		HS BotStore.png	D:\Automate\LinkedIn

なお、実行結果は F 列から H 列に書き込まれます。H 列には LinkedIn で作成された内部の Share/Post ID が書き込まれます。

F	G	H
Created?	Details	
Yes/No	Date	Share/Post ID or Result Message
YES	14/09/2020 10:02:51 AM	The share was created in LinkedIn with id urn:li:share:6711257892563021824.
YES	14/09/2020 10:02:53 AM	The share was created in LinkedIn with id urn:li:share:6711257902327349248.
YES	14/09/2020 10:03:00 AM	The share was created in LinkedIn with id urn:li:share:6711257930651496448.

LinkedIn Share/Post の結果:

Automate Automate
 Information Technology Specialist at Personal
 7h •

LinkedIn Post created by Automate

Like Comment

5 views of your post ⓘ

1

Automate Automate
 Information Technology Specialist at Personal
 7h •

AUTOMATE PLUS: Enterprise automation working with processes involving multiple people, departments, and processes.

Official LinkedIn Blog
 helpsystems.com • 1 min read
 AUTOMATE PLUS: Enterprise automation working with processes involving multiple people,...

Like Comment

2

Automate Automate
 Information Technology Specialist at Personal
 7h •

Automate Bot Store: Online marketplace of free, fully functional bots for users to download.

Like Comment

3



付録 B – トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。ログファイルは C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>> に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *LinkedIn Bot - Share Content within your Profile*.



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and Automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people